

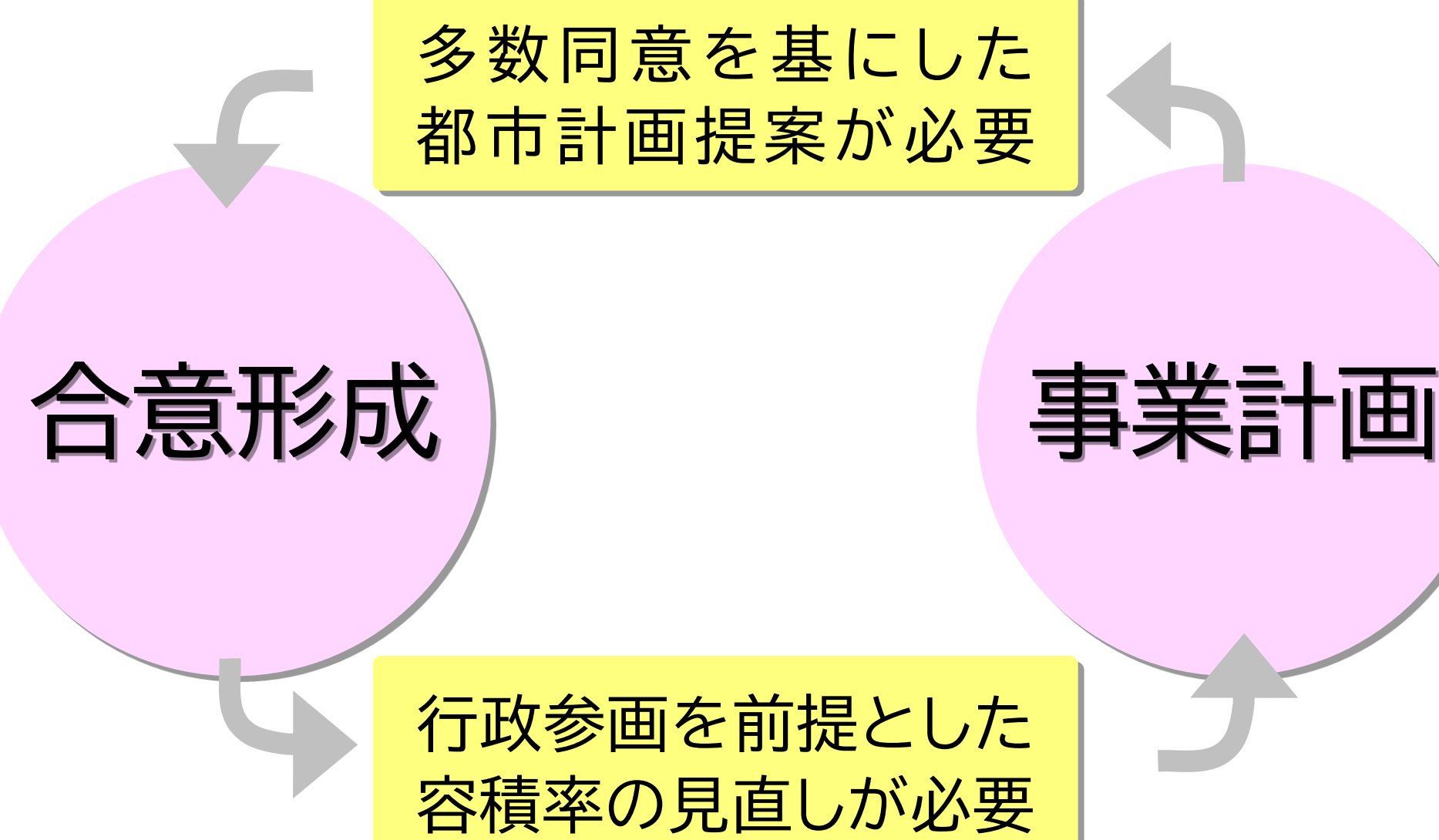
名駅東花車・船入地区まちづくりの会

地権者発意は限界だがや!

課題

- ① 防災対策が遅れています
狭い道路や老朽建物の存在により、災害発生時の危険度が高い街になっています
- ② 土地利用の更新が遅れています
名古屋駅至近にありながら、建物の更新が進まず、都市機能の低下を招いている街になっています
- ③ 都市機能誘導制度の空白エリアです
都市再生緊急整備地域内にありながら、都市機能誘導制度の対象区域外で、取り残された街です

合意形成が先か? 事業計画が先か?



西側から見た活動地域

魅力Best3

- ① 住む人も働く人も訪れる人も行き交う都心。地域で山車を保有し文化を継承。
- ② 地下鉄駅に直結。名古屋駅まで地下道が続き、私鉄・新幹線・空港の利用も便利。
- ③ 幹線道路に囲まれ、都市高速の出入口が隣接。車でのアクセスも良好。

活動地域

名古屋市中村区名駅五丁目1番～23番 (旧花車町など)
江川線、桜通、錦通、堀川に囲われたエリア
面積 約5.8ヘクタール (バンテリンドームナゴヤの1.2倍)

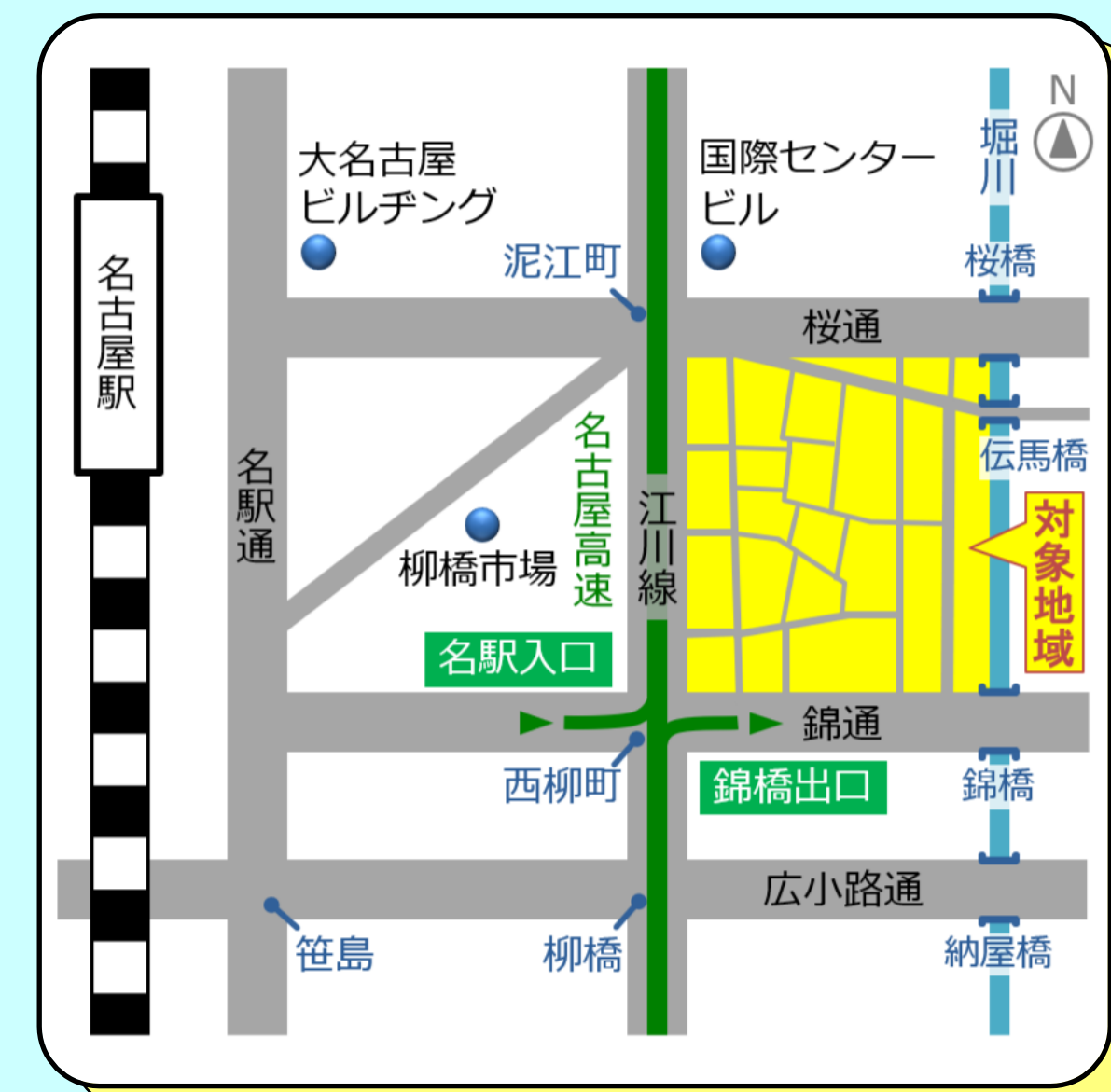
地区計画で解決しようまい!

どんな状況?

地域の西側では、江川線の拡幅に伴う「小鳥町第一市街地改造事業」により三棟の花車ビルが建設されました。一方、東側は「復興土地区画整理事業」から外れ、空襲による焼失を免れた細街路が残り、戸建て住宅や社寺などが混在。10月の花車神明社祭では、三両の山車による「からくり演技」の奉納(名駅山車揃え)が行われます。

会では、地域の課題をエリア全体の面的なまちづくりで解決するため、2020年度から連続5回の地域まちづくり活動助成を受け、2023年2月にはビジョンシート「はなぐるまちづくり構想」を公表。2024年度は「地区計画検討会」を4度開催、「地区計画素案のたたき台」を製作して関係者の合意形成を進めていく方針です。

現在の状況は、まちづくり構想の合意形成を進めようにも事業計画が立たずに実現可能性に懸念を抱かれ、事業計画を立てるために行政参画を求めても合意形成が無ければ行政は動かず、残念ながら原因と結果の循環から抜け出せていません。



めいえきひがしはなぐるま・ふないり ちく
名駅東花車・船入地区まちづくりの会

住所 名古屋市中村区名駅五丁目6番13号 尾張屋洋品店 2階

電話 070-8401-6952

URL <https://meieki5funairi.com>

結成 2020年(令和2年)4月1日

一般会員および賛助会員を随時募集しています。

詳しくはホームページをご確認ください。



公式HP



公式X